

INTERVIEW



山本 孝二 町長

こぎゃんしたか御船町
共に創るまちづくりへ

町は、平成4年にまちづくりの基礎となる「都市計画区域」を設定してから約20年が経過しました。

シンボルロード線や国道443号と445号の道路網整備も関係者の協力で順調に進み、あらためてお礼を申し上げます。しかし、利便性が向上する一方で、通過型都市への心配もありました。そこで、平成22年から「都市再生整備計画書」を基に、これまでに紹介した各事業を行っています。目標を掲げ、指標を数値化して、達成を目指すまちづくりです。

この取り組みは、「人と人のつながり」から共に創る「共創」を基本理念として実践しているマニフェスト型行政運営そのものです。

町の未来を創っていくためには、町民、行政、議会の三者が共に協力や連携することが必要です。明日の御船町をみんなで創り上げましょう。



●都市再生整備計画事業

地域の歴史、文化、自然環境などの特性を生かして、地域主導の個性あふれるまちづくりを支援する国からの交付金事業。地域の創意工夫で、限らないオーダーメイド型のまちづくりが可能となる。町は平成21年度に本計画を作成した。

事業を進めています。

この取り組みで▽ふれあい広場の維持管理や活用方法を町民主体で議論▽新恐竜博物館の集客を活用した町全体の活性化策の提案▽役場内部の事業推進体制の構築—などの効果が上がっています。さらなる工夫と、町民の声や視点を生かして、各事業の検討を図っていきます。

今後は、本計画の目標である「御船町の新たな顔となる『人集い夢かなう文化交流空間』の形成」に向けて、各事業を進めていきます。事業効果を最大限に引き出すために、集客向上へのPR、施設完成後のオープンイベント支援、地域活動の人材発掘と育成、自治会や各団体の組織強化支援など、町民がまちづくりに参加しやすい支援を継続的に図っていきます。



都市再生整備計画事業メニュー

① ふれあい広場 整備完了 平成25年度 整備内容 広場整備1.4㍒ 担当窓口 建設課	② 街なかギャラリー 整備完了 平成24年度 整備内容 ギャラリー整備 担当窓口 経済振興課	③ ポケットパーク・モニュメント 整備完了 平成25年度 整備内容 ミニ公園整備、碑や像設置 担当窓口 建設課
④ 新恐竜博物館 整備完了 平成25年度 整備内容 恐竜博物館新館整備 担当窓口 社会教育課	⑤ 観光交流センター 整備完了 平成25年度 整備内容 旧御船幼稚園の改装増築 担当窓口 社会教育課	⑥ 子育てふれあい館 整備完了 平成25年度 整備内容 旧御船幼稚園舎の改装 担当窓口 福祉課
⑦ 迎町高校線改良 整備完了 平成23年度 整備内容 歩道設置、橋りょう拡幅 担当窓口 建設課	⑧ 城山小学校線改良 整備完了 平成23年度 整備内容 カラー舗装の路面表示 担当窓口 建設課	⑨ 辺田見役場線改良 整備完了 平成24～25年度 整備内容 水路改修、護謨壁設置など 担当窓口 建設課

これまでの取り組み (平成19～23年度)



▼まちづくり住民説明会

平成19年度から5回開催しています。都市再生整備計画事業の内容、進め方、進め方、施設の活用方法を説明して、町民と意見交換を行っています。



▼ふれあい広場のワークショップ

平成22～23年度にかけて6回開催しています。広場のレイアウト、維持管理や利活用を意見交換。町民からの意見を集約して検討を行っています。



▼広報紙での情報発信

広報みふね平成23年6月号から、都市再生整備計画事業を連載で紹介しました。各事業の内容、期待される効果、町民の声などをお知らせしています。

これから取り組み (平成24～25年度)



恐竜の郷 御船町
恐竜の郷にあやかり、町のマスコットキャラクターに定着している「フネッピー」

▼フネッピーのキャラクターグッズ化
熊本の人気キャラクター「くまモン」を追い風に、御船町の「フネッピー」のグッズや着ぐるみを製作予定です。イベントや行事で、町のPRに役立てます。

▼アドバイス支援

各施設の集客アップや地域コミュニティの活性化など、まちのにぎわい再生に向けたアイデアを実現するために、アドバイス支援をします。

▼オープニングイベントの支援

平成25年度までに、ふれあい広場、新恐竜博物館、観光交流センターなどの施設が完成します。そのオープニングイベントの開催を支援します。

問

建設課都市計画係

282-11312

都市再生整備計画事業「まちづくり活動推進」編
御船のまちづくりは町民参加型